

2020年12月15日

株式会社ゼンリン

ゼンリンの時空間データベースを最大限に活用した API 「ZENRIN Maps API」による各業界向けソリューションを提供開始 ～各産業における業務効率化・高度化を支援～

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、時空間データベース*を最大限に活用した API、「ZENRIN Maps API」の提供を12月15日(火)より開始いたします。

「ZENRIN Maps API」は、道路地図から住宅地図までの地図情報と、それに付随する豊富な属性情報を一気通貫で提供する API です。ゼンリンは本 API を通して、企業が保有する様々な情報の利用価値を更に高めるソリューションの実現を目指します。

尚、今後更なる機能開発を進め、順次リリースを行っていく予定です。

※ゼンリンが全国の調査網により収集した様々な情報を一元管理し、最新の情報をお客様にとって最適な形で提供可能なデータベース

■開発の背景

各産業においてクラウドファーストが浸透し、AI・IoT といった要素技術と結び付け、DX の実現を目指す取り組みが加速している中で、地図情報を活用したビッグデータの可視化や正規化、移動や配送ルート最適化など、業務活用へのニーズが高まっています。ゼンリンは「ZENRIN Maps API」の各種機能を組み合わせる事で、各産業における業務効率化・高度化に向けた様々なソリューションを展開して参ります。

■ZENRIN Maps API の特徴

(1) 多種多様な空間情報を搭載した地図基盤

過去*から現在における建物属性情報・施設情報・各種統計データなどを、地図基盤に搭載しています。

様々なコンテンツ表示や検索機能、過去情報等を活用し、地域の変遷を捉える事で、対象エリアの状況把握にご活用いただけます。*過去におけるデータの提供年代は、地域によって異なります。

過去～現在までの豊富な地理空間情報



(2) 位置情報の正規化

ゼンリンの保有する「過去住所」・「地番情報」・「建物名称」等のコンテンツを活用し、お客様の保有する住所情報を正しい住所に変換することで、最新且つ精度の高い位置情報(住所・座標)をご提供いたします。

位置情報の”使える化”

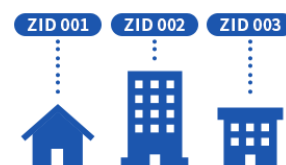


(3) ゼンリン独自 ID による検索機能

現実世界の建物やテナントなどに独自 ID (ZID)*を付与し、時系列で管理。これにより、建物の生成や消滅といった変化情報の、時間軸に沿った把握が可能になります。

※ZID の新規/削除は、現物の地物の生成/消滅に合わせて更新します。なお、当社の調査/整備仕様に基づいた更新であり、現実世界の変化状況を保証するものではありません。

独自 ID による検索機能



■「ZENRIN Maps API」提供機能について

地図描画、検索機能に加え、ゼンリンの地理空間情報を最大限に活用した機能を実装しております。



マップ

地図の描画・操作に関する機能。



サーチ

地図情報の各種検索機能。



ルート

多彩なルート探索・ナビ機能



データコーティング

位置情報を高度化する機能

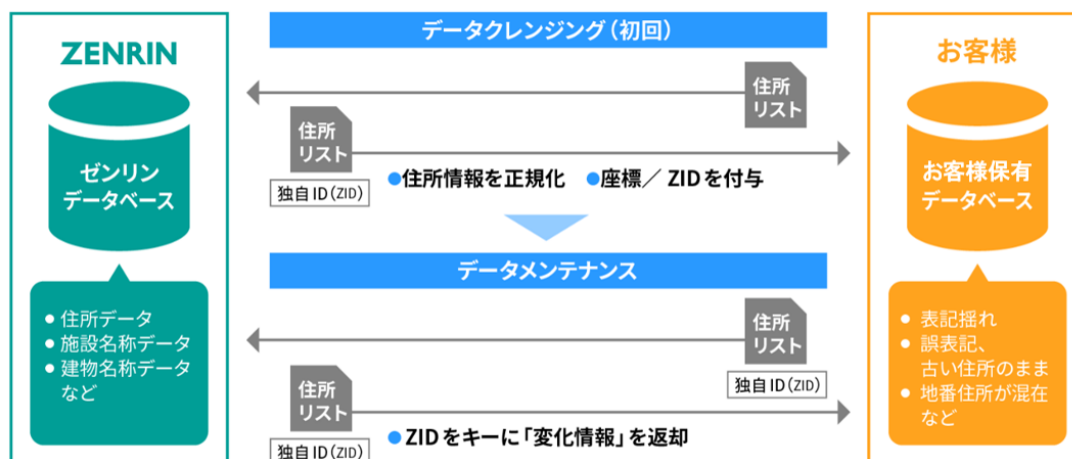
詳細は、下記商品ページをご覧ください。

ZENRIN Maps API 商品ページ: <https://www.zenrin.co.jp/product/category/iot/api/index.html>

■活用事例…データマネジメント業務向けソリューション

「ZENRIN Maps API」の機能群を組み合わせ、住所情報をクレンジングし、ゼンリン独自の ID を付与することで、企業が保有する様々なデータの可視化や、分析に”使える”データへの変化をサポートします。様々な変化情報を把握できるほか、データのメンテナンスにも有効です。

時系列でID管理された各種データにより、現実世界の変化を捉えることが可能



他にも各業種向けに、本 API を活用した様々な業務効率化・課題解決のソリューションをご提供いたします。詳細は、当社 HP 内「業種別ソリューション」をご覧ください。

<https://www.zenrin.co.jp/product/category/iot/industry/index.html>